

2016 年 9 月 16 日（金）～18 日（日）

唐松岳 (2,696m) ・ 五龍岳 (2,814m) ③

18 日 遠見尾根下山

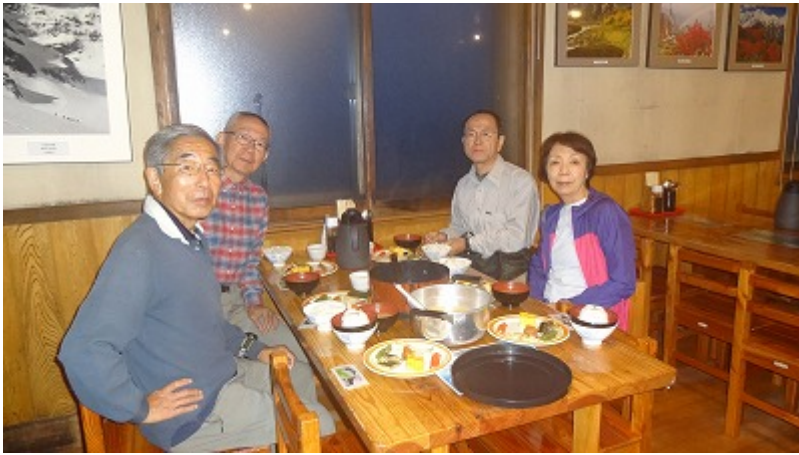
～Report by 吉松～

台風 16 号の影響による前線停滞で、昨夕から降り出した雨はいよいよ強くなっていた。昨日中に五龍岳に登ったのは、結果的にはよい選択だった。

今日は雨の中を下山だ。遠見尾根をひたすら歩くことになったが、風がほとんど無かったことだけが不幸中の幸いである。

三日目（18日 日曜日 雨）

三日目に予定していた五龍岳山頂往復が無くなったので、雨の様子を見ながらゆっくり出立することにした。



朝食は 5 時から摂ることが可能であったが、我々は他の登山客がほとんど終わった後からゆっくり摂った。



この雨天の中を五龍岳に挑戦するのだろうか、慌ただしく身支度をして山荘を出て行く登山客もいた。



7 時前、支度を整えて受付前で写真撮影。

玄関を出ると大粒の雨なので、他の登山客には失礼して狭い玄関内で撮らせてもらった。



山荘すぐ裏の白岳(2541m)に少しだけ登り返してから下りてゆく。

この辺りは岩場も急で鎖場もあり、山荘の人のアドバイスに従ってストックに頼らずに下ることにした。



小一時間歩いた辺りで小休止。

一番急峻なところは下り切ったようだ。岡部さんと堀さんは、レインウェアに傘のいでたちだ。



昨日からの雨で、所によっては登山道が川のようになって水が流れている。

西遠見を通過。



8時45分、大遠見で小休止。



中遠見までくれば、ほぼ半分くらいまで下りてきた勘定だ。

大遠見尾根の方が八方尾根よりも紅葉が進んでいるようだ。



ダケカンバ(黄),オオカメノキ(赤),ハウチワカエデ(橙)



ドウダンツツジ



オオカメノキ (ムシカリ)



ナナカマド

足元にはリンドウが群生していて、単調な雨の中の下山を慰めてくれた。



泥水の沢と化した登山道脇で咲く花



オヤマリンドウ



10時、小遠見山(2007m)に到着。
 標示では、ここからテレキャビン（ゴンドラ）のアルプス平駅まで60分とあったが、実際には「地蔵ノ頭」まで60分掛かった。



10時40分、見返り坂。
 この辺りまではリフトで上がってくる一般観光客も足を伸ばすらしい。



写真遠方の尖塔あたりが地蔵の頭。

少し手前にいろいろな碑が固まって建てられていた。
 一つ一つをゆっくり丁寧に見れば面白かったのだろうが、雨でちょっとその余裕がなかったのは残念。



地蔵の頭。

標示にはここからテレキャビン（ゴンドラ）のアルプス平駅まで20分とある。





ほとんど最後の下りの木道で堀さんが足を滑らせてしまった。

今度は右足の膝を擦りむいた。

木道を下り切ったところからアルプス平駅までは、高山植物園として良く整備されていた。随分沢山の高山植物が広い敷地に植わっていたが、以下の写真はそのほんの一部だ。



テレキャビンを利用してとおみ駅まで下った。そこから10数分歩いて白馬かたくり温泉「十郎の湯」に向かった。



「十郎の湯は」かなり大きな構えの建物である。店員はのんびりしていてほのぼのとした気分させてくれる。

この日の客は少なく、ほとんど貸し切り状態に近い。

単純温泉のいい湯であった。

「閑話休題」

堀さんはパッキングに手拔かりがあったらしく、着替えが雨ですっかりびしょぬれ状態になってしまっていた。お気の毒に、湯上りのさっぱりした気分には一寸なれなかったかもしれない。

しかも、腕時計をしたまま温泉に入り時計の中にまで湯を入れてしまったようだ。今日の堀さんは「水難の相」が出ていたようだ。

なお、「水難の相」が更に進行すると、泌尿器系の病気にまで行くこともあるそうなので、堀さん、どうぞくれぐれも気をつけて頂きたい！！



格式の有りそうな広々とした畳の部屋で、唐松岳・五龍岳登頂と無事下山を祝って乾杯！！

(休憩場所である畳の大広間)



(岡部さん、堀さん、吉松はとんかつ定食)



(雄さんは豚肉の生姜焼き定食)

五龍岳登頂を昨日済ませていたため、全体スケジュールが2時間程早まった。幸いに白馬駅発14時37分発の「特急あずさ26号」にとび乗ることができた。自由席はガラガラでのんびりと東京に向かった。



流石にお疲れ気味。

焼酎を飲んでこんな具合であったところを、雄さんに撮られた。

今年の9月は極めて天候不順で、出発直前まで台風や停滞前線の動きが気がかりでした。結局最終日は、最近のクマさん会では珍しいほどの大雨の中を下る羽目になりました。

天候には恵まれませんでした。兎にも角にも唐松岳に登り五龍岳山頂に立つことが出来て満足しています。遠くから眺めた鹿島槍ヶ岳も大変魅力的な山で、手招きをしているようにも見えました。機会があれば、登山計画を作りクマさん会に提案しようかと密かに思っています。(吉松)